

学年	高校3年	教科	地理歴史
コース	本科/ICS	科目	世界史演習2
時間数	6時間/週		

### 重視したいコンピテンシー

① 探究心	教科書に記載されている歴史的事項について、絶えず問いを見出し、歴史の本質を追究しようとする。
② 異文化理解	現代の国際社会で起こっている諸問題について興味・関心を持つようとする。
③ 創造性	現在起こっている諸問題の解決策や、未来に起こり得る問題を予測し、仮説を立てようとする。

3	①単元の内容を要約できる ②単元の内容を要約したことを説明できる	①2つ以上の地域の共通点・相違点をふまえ、地域の特徴を説明できる ②原因・結果をふまえ、その歴史的意義を説明できる	①C2の①の仮説を検証する ②C2の②の仮説を検証する ③未来に起こりえる問題を解決するための仮説を立てることができる。
2	①重要な歴史用語の説明ができる。 ②歴史事項の流れを理解できる →〈時代整序〉 ③単元内容を理解できる →〈正誤判定〉	〈B①をふまえ・・・〉 ①2つ以上の地域との共通点・相違点を説明できる ②歴史事象の原因を説明できる。 ③歴史事象の結果を説明できる。	①C1の①の問いに対する仮説を立てることができる ②現代の課題を解決するための仮説を立てることができる ③現在の課題をふまえ、未来に起こり得る問いを立てることができる。
1	①問いに対し、歴史用語を的確に答えることができる。	①資料の内容を読み取り、内容や特徴を説明できる。 ②時代の前後の関連性に気づける。 ③同一時代の異なる2つ以上の地域の関連性に気づける	①単元を通して、新たな問いを立てることができる。 ②歴史事象をふまえ、現代の諸課題との関連性に気づくことができる。
	A 知識・技能	B 応用・実践	C 批判・創造

学期	月	単元	単元目標	主な活動
1	4	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・アメリカ・フランス二つの革命を通じて、人々が自らの手で社会を作り上げていく自覚が芽生えてきたことを理解する。	各単元の重要ポイントを示し、オリジナルPPを利用して講義を進める。その際可能な限り視聴覚教材を利用する。生徒は山川出版社『世界史学習ノート』を利用して理解したことをまとめていく。アウトプットの機会として声に出して確認し、週2～3回のGoogle Forms (0L小テスト)、週に1回の朝学単元テストに臨む。その他、興味を持ったことを調べ、まとめ、発表することを推奨する。
	5	欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制が、大国の利害・勢力均衡を優先させた現状維持の保守反動体制であることを理解する。	
	6	アジア諸地域の動揺	・欧米列強による植民地化の過程を理解し、その影響が途上国における現在の経済的自立を妨げていることを知る。また、民衆による反植民地の戦いを理解する。	
	7	帝国主義とアジアの民族運動	・植民地支配を基盤とする帝国主義の膨張と、民族主義の抵抗並びに解放への過程を理解する。	
2	9	二つの世界大戦	・国家間の利害対立としての戦争を概観し、戦後の秩序構築に向けての各国の努力を理解するとともに、世界と日本の将来について考える。	同上
	10	冷戦と第三世界の独立	・20世紀後半の国際政治の流れを大きく捉え、現代の戦争の特質と平和の意義について考える。	
	11	現在の世界	・広い視野と長い時間軸の中で、現代とは何かを問い直すとともに、将来の世界と日本のあるべき姿について考える。	